

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

「明るく、自ら考え、落ち着いて学習に取り組む児童の育成」
～確かな学力の育成～

＜本年度の学力向上策＞

- 1 わかる授業の工夫と個に応じた指導
 - (1) 聞き取りやすい声、適切な指示と発問、ICT機器の活用、板書の工夫（ユニバーサルデザインの視点）、特別な教育的支援の必要な児童支援、校内研修の実践
 - (2) 基礎学力の定着（復習や反復学習）
- 2 学習規律や学習習慣の育成
 - (1) チャイムで開始と終了、座る姿勢（立腰）
 - (2) 「聴く―話す―書く―見る」けじめある学習規律
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善
 - (1) 考える時間や話し合う時間の確保
 - (2) 自分の考えや感想を発表する時間の確保
- 4 読書活動の充実
 - (1) 日常生活における読書活動の活性化
 - (2) 学校図書館の活用と充実

＜本年度の振り返り＞

- ・わかる授業の工夫として全校で取り組んできた結果、学校生活アンケートでは児童の93.3%が授業がわかる・理解できていると回答している。
- ・学習規律や学習習慣の育成を図るために、本年度は朝学習の時間を朝会の時間と揃えて15分確保した結果、1時間目のチャイムで開始することが守られるようになり、学習に対しての意欲が高まった。
- ・主体的・対話的で深い学びをするための授業改善としては、校内研修を軸に初任者研修の研究授業などを若手の先生や臨時的任用の先生方に参観してもらい、研究協議会にも参加することを通して教師としての資質・能力の向上を図った。
- ・本に親しんだり、読んだりする時間を確保するために、いろいろなキャンペーンに取り組んだ結果、10分以上読書する児童が76%に達した。